



ともだち共立

第29号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

「ジェンダー・バイアス」の払拭に向けて

富山県男女共同参画推進員高岡連絡会 会長 廣羽 孝雄



令和4年度の総会において、図らずも富山県男女共同参画推進員高岡連絡会の会長に就任しました廣羽でございます。私自身、今から25年程前に行政の立場で、男女共同参画の推進に関わった経験があり、この度、地域の推薦を受け、一市民として、再び、男女共同参画に携わることとなり、感慨深いものがございます。

四半世紀を経て、改めて、推進員として、県や市の研修会等を通じ、男女平等・共同参画の推進状況等について理解を深めてきた中で、男女共同参画に関し、以前に比べて、改善されたり、変化してきたものがある一方、依然として、進展を見ないものも多々あると感じております。

これら未だに進展が見られないものがある大きな要因の一つとして、「ジェンダー・バイアス」即ち、性別による無意識の思い込みがあげられるのではないのでしょうか？

「家事・育児は女性がすべき」、「男性は家庭よりも仕事を優先すべき」、「組織のリーダーは男性が向いている」、「細かな作業は女性が向いている」等といった無意識の思い込みが、結果的に、「政策決定過程への女性の参画」をはじめ、「職場における女性の躍進」、「家庭における男性の家事・育児・介護等への参画」、「地域活動における女性の活躍」等を促進する上で、支障となっていると考えられます。

この男女共同参画を阻害する強固な岩盤である無意識の思い込みを払拭するためには、例えば、自分の考えが偏っていないか確認したり、多様な角度から物事を見る習慣を身につけたり、自分と異なる価値観を否定せず、その背景を考えたりすること等の対策が考えられると思います。

しかし、この無意識の思い込みの解消はそう簡単なものではなく、結局は、性別による思い込みの弊害等について、地道に辛抱強く、一人一人に訴え掛けていくことが大切であり、私自身、会長として、また推進員として、「ジェンダー・バイアス」の払拭、男女共同参画社会の実現に向け、地域への普及啓発活動に取り組むなど自らの役割を果たしてまいりたいと考えており、皆様方には、一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この広報紙は高岡市のホームページからご覧いただけます。

ほっとホット高岡 > 暮らし > 男女平等・共同参画 > 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gender/kurashi/kyodosankaku/renrakukai/index.html>



三 二 地 区 懇 談 会



11 月 20 日（日） 伏木地区、古府地区、太田地区合同

「地域防災に対し男女共同の観点の重要性」

講師 伏木消防署員

近年、自然災害などが世界をはじめ国内においても頻繁に発生している中で、地域や家族など身近なところでの緊急時において男女が平等な立場で対応する必要性があります。力を必要とすることは男性といったような性別役割分担の傾向が、暗黙の了解のように自然と流れて行かないように、今回は伏木消防署員の方から心肺蘇生法と応急手当について実践を交えて学びました。

参加者の 7 割が女性で、心肺蘇生（胸骨圧迫）に思っていた以上の力が必要だと実感していました。応急手当（RICE 処置）の知識を知っているだけでも、現場での初動対応に大きな時間差が発生し、人命に大きく関わってくることの重要性を学ぶことができました。



11 月 27 日（日）横田地区・川原地区・西条地区合同

「ジェンダー平等と地域防災力 UP！ ～女性が活躍する地域防災を進めるために～」

講師 NPO 法人 N プロジェクトひと・みち・まち 理事長 大坪 久美子さん

昨今頻発する様々な災害に備えるために普段からどの時間帯でも、どんなメンバーであっても、素早く避難体制がとれるようにするには、「男女、様々な年代のリーダーが必要！」「男女でいろいろな役割が担えるようになっておくことが重要！」ということで、中越地震や熊本地震などから実際の被害の数値や現地からでた困りごとの事例を基に、いかにジェンダー平等や男女が共に区別なく事にあたるのが災害現場では大切かを講演頂きました。

講演の終わりに近くの席の 3 人～4 人で意見を出し合う機会もあり、気付きのおおい時間となりました。みんなの力を活かすことが地域防災力 UP、男女共同参画向上、しいては地域づくりにつながることを認識できました。



12 月 9 日（金）成美地区・能町地区・万葉地区合同

「男女平等・共同参画社会とは 男女が一緒になって活躍できる社会を目指して」

講師 高岡市男女平等・共同参画課 酒井 栄朗さん

日本は、他国よりも政治、管理職での女性参画割合が特に低い。高岡市では男女平等推進プラン(第2次)後期事業計画を策定し、策定に当たって実施したアンケートでは『男性は仕事、女性は家庭を守るべき』だという考え方に反対と回答した割合は約4割、『男性も女性も家事や育児に参加するほうが良い』という考え方に賛成と回答した割合が約9割だったそうです。

今後、もっと男女平等・共同参画を推進していくためには、地域、家庭、職場、それぞれの場面で心掛ける事が大切だと思いました。家庭でも話をして共感、尊重し合いながら家族と会話することで、心豊かな生活を送ることに繋がるのではないかと思います。



活 動 報 告

9月3日（土）Eフェスタ

Eフェスタつながりマルシェに参加しました

高岡連絡会は、高岡市男女平等推進センター活動登録団体として登録しています。登録活動団体ネットワークのEネットが毎年開催しているEフェスタでは、いくつかの活動登録団体が集まり、互いにつなぎ・ひろがり・みとめあう「Eフェスタつながりマルシェ」が開催されたので参加しました。

富山県男女共同参画推進員の活動などを紹介するパネルを展示して、男女共同参画に関するクイズやダイバーシティの紙芝居を行いました。多くの方が参加して関心を持っていただき、いろいろな世代の方に啓発ができたと思います。これからも男女共同参画について普及啓発を進めていきたいと思っています。



活 動 報 告

6月25日（土） 定例会

誰もが生きがいを感じられる社会を目指して ～性別役割分担意識ってなに？～

講師 富山大学学長補佐

富山大学ダイバーシティ推進センター長 小野 直子さん

男女共同参画週間事業センター企画講座として、小野 直子氏を講師にお招きして、性別役割分業構造が形成された社会的背景から、管理職は男性、家事育児は女性などの職場や家庭におけるアンコンシャス・バイアスについて、そしてアンコンシャス・バイアスへの対策方法をお話していただきました。（アンコンシャス・バイアス＝ 無意識な思い込み・偏見等）

この講座を聞いて、まず、始めに思ったのが「アンコンシャス・バイアス」という言葉自体を初めて耳にしたということ。そして、その事こそが「アンコンシャス・バイアス」による弊害が無くならない理由なのだと感じました。アンコンシャス・バイアス自体が悪いという訳ではなく、それにより無意識に周囲を傷つけてしまう可能性があるということ。まずは、アンコンシャス・バイアスを「知る」「意識する」という事が、アンコンシャス・バイアスによる弊害を無くす一歩に繋がります。「性別役割分担意識」という名のアンコンシャス・バイアスによる弊害を無くす事で、誰もが生きがいを感じられる社会に繋がっていかねばならないと感じました。また、講座終了後の質疑応答では沢山の質問が寄せられ、参加者の関心が高い講座だったと思います。



11月5日（土） 定例会

今知りたい！育児・介護休業法の改正ポイント ～ワーク・ライフ・バランスを見直そう～

講師 育Qドットコム株式会社 代表取締役社長 広中 秀俊さん

講師の広中さんは、民間企業で働き方改革推進担当をご経験され、2021 年 4 月 19 日育Qドットコム株式会社を設立。「育休で日本を元気にする」をミッションに、男性育休が当たり前になる世の中を目指し啓蒙活動、コンサルタントを展開されています。男性の育休取得が推進されることで、多様な働き方が選択可能になり、育休取得者の生産性が向上。また、企業にとっても非財務的な企業価値を高める効果があり、優秀な人材確保の切り札になる可能性があります。さらに社会全体にとっても、少子化対策として有効な施策であり、男性育休の取得推進は非常に重要なことであると考えさせられました。ユニセフの発表によると、日本の男性育休制度は、世界で一番手厚い制度なのだとことを知り、積極的に活用していくべきだと強く感じました。

富山県の男性育休取得率は、8%程度とまだまだ普及していませんが、急速に進む少子高齢化が問題になっている今こそ、「育休で日本を元気にする」ことが必要だと感じました。



編集後記

新型コロナウイルスの影響で開催することのできなかったミニ地区懇談会も、今年度は開催することができました。推進員自身がテーマや講師を選定し、地区住民へアナウンスするなど業務量は多く大変だったと思いますが、より良い学びの場となったようです。定例会についても、web 参加が可能となるなど変化が大きな時代となっています。コロナ禍の中、家庭のあり方・役割も変わっていく中で、自身として次年度も引き続き、ミニ懇親会や定例会を通じて多くを学びたいと思います。（畠山 新平）

広報部員

副会長 山元 裕美 部長 畠山 新平

畔川 恵介・上野 沙耶香・江尻 大介・小林 徹也・柴野 泰子・竹林 健一・出村 直美・土肥 一哲
山口 新太郎（五十音順）